

平成 20 年 8 月 15 日

各 位

住 所 横浜市中区翁町一丁目 4 番 1 号
 会 社 名 株式会社アルテ サロン ホールディングス
 代 表 者 代表取締役社長 吉 原 直 樹
 (コード番号: 2406)
 問合せ先 常務取締役 小 田 俊 也
 電 話 045-663-6123 (代表)

持分法適用関連会社の異動(譲渡)に伴う特別損失の発生、
ならびに平成 20 年 12 月期中間期(連結・個別)および通期(連結・個別)の
業績予想の修正に関するお知らせ

関連会社の株式および新株予約権付社債の譲渡に伴う特別損失、また最近の当社企業グループの業績動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 22 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 20 年 12 月期の中間期(連結・個別)および通期(連結・個別)の業績予想は以下のとおりです。

- 1 平成 20 年 12 月期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)中間業績予想の修正
 (1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,800	200	180	70
今回修正(B)	3,816	140	116	11
増減額(B)-(A)	16	60	64	81
増減率	0.4 %	30.0 %	35.6 %	

(ご参考)

前期中間期の実績	3,749	199	184	39
----------	-------	-----	-----	----

- (2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	1,200	100	75	40
今回修正(B)	1,200	102	71	28
増減額(B)-(A)	0	2	4	68
増減率	0 %	2.0 %	5.3 %	

(ご参考)

前期中間期の実績	1,021	34	110	59
----------	-------	----	-----	----

(3) 平成20年12月期中間業績(連結・個別)の修正理由

連結業績予想について

連結業績におきましては、グループ店舗数がほぼ計画どおりに推移したことからロイヤリティ、店舗設備使用料等による売上高は予想どおりでしたが、Ash 店におけるメニュー改訂に伴う諸費用負担、新店の減価償却費の予想を上回る負担、グループ内部管理体制の強化による本部費用の増大等があり営業利益は当初予想 200 百万円から 140 百万円へ、また経常利益は 180 百万円から 116 百万円へ修正いたします。

また、本日別途適時開示したとおり、当社が保有する関連会社の株式および新株予約権付社債を譲渡(以下、当該措置)いたします。当該措置により、関係会社株式等評価損 111 百万円が特別損失として発生する見込であることから、当期純利益 70 百万円を当期純損失 11 百万円へ修正いたします。

個別業績予想について

グループサロン数の増加等によりロイヤリティ、店舗設備使用料等の営業収入が予想どおり推移したことから、営業利益を 100 百万円から 102 百万円へ修正いたします。

一方で、当中間期に実施した自己株式取得にかかる報酬支払、円高に伴う為替差損が発生し、経常利益は 75 百万円から 71 百万円へ修正となりました。さらに、前述の関連会社の株式等の譲渡に係る特別損失として 122 百万円を計上の見込みであること等から、当期純利益 40 百万円を当期純損失 28 百万円へ修正いたします。

2 平成20年12月期(平成20年1月1日~平成20年12月31日)通期業績の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,000	490	430	170
今回修正(B)	7,700	290	250	60
増減額(B)-(A)	300	200	180	110
増減率	3.8 %	40.8 %	41.9 %	64.7 %

(ご参考)

前期の実績	8,030	490	432	113
-------	-------	-----	-----	-----

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	2,450	240	180	80
今回修正(B)	2,450	210	160	10
増減額(B)-(A)	0	30	20	70
増減率	0 %	12.5 %	11.1 %	87.5 %

(ご参考)

前期の実績	2,154	85	138	54
-------	-------	----	-----	----

(3) 平成20年12月期通期業績(連結・個別)の修正理由

連結業績予想について

今春以降急速に冷え込み始めている国内の消費者動向に影響され、当社サロンの集客動向にも影響が出始めており、当社主要子会社である株式会社アッシュと株式会社ニューヨーク・ニューヨークのチェーン全店の上半期の入客数は前年同期98.4%となりました。各サロンでは客単価の向上に努めており、相応の効果が出ておりますが、入客数の減少をカバーするに至らないサロンが増えております。

当社グループ全子会社では、新規出店サロンの順調な立ち上げにより、チェーン全店売上高は5月までほぼ計画どおりの水準を維持して参りましたが、6月の落ち込みにより上半期の予想91.4億円に対し87.8億円(達成率96.1%)の実績となりました。

下期につきましては、当中間期の営業面の落ち込みを挽回すべく、各グループ会社においてそれぞれ特色ある営業面の施策を展開してまいりますが、7月および8月上旬の国内市場を見ますと、ひきつづき低調な消費動向が続いていることから、営業成績の急速な挽回を期待できる状況ではなく、売上高を8,000百万円から7,700百万円、営業利益を490百万円から290百万円へ、経常利益を430百万円から250百万円へ修正いたします。

なお、当社子会社の株式会社スタイルデザイナーにおいて、加盟フランチャイズ契約の途中解除があったことから、それに伴う違約金収入32百万円が特別利益として7月に発生しております。これにより、当期純利益は、170百万円から60百万円への修正となります。

個別業績予想について

上記のとおり、グループサロンの営業成績に起因する当社営業収入の急速な挽回は期待できません。一方で、グループ内部管理体制強化を目的とした当社内部費用と外部支払報酬等が増大することが影響し、営業利益は240百万円から210百万円に修正いたします。これに伴い、経常利益は180百万円から160百万円へ、また当期純利益は、前述の当該措置等の影響もあり80百万円から10百万円へ修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上